

地域を愛し、地域の担い手となる川中っ子を育てる

下関市立川中小学校

学校運営協議会について

① 実施回数

年間6回開催（その内3回が中学校区3校での合同開催）

② 主な協議内容

- ・本年度の学校経営方針の説明と承認
- ・「学びが好きなまち（川中校区）をめざして～学校・家庭・地域でできること～」をテーマに熟議
- ・小・中・地域連携カリキュラムの推進
- ・学力向上の取組、自主学習ノートコンクールの審査
- ・学校評価の報告、来年度の学校運営方針の提案



川中中校区のキャラクター「いくらーん」です！

特色ある活動

◆子供と地域の方とのつながり

- ・ルル・フラワーの会（生け花教室 毎月開催）・折紙教室（毎月開催）
- ・農業体験（じゃがいも・さつまいも・大根）・昔遊びの会 ・けん玉教室
- ・夏休み子供体験フェア ・ミシンのサポート ・絵手紙教室 ・茶道教室
- ・クラブ活動の指導（茶道・将棋・平家太鼓）・卒業生へ胸花の贈呈



◆保護者と地域の方とのつながり

- ・参観日の託児（参観日に未就学児を地域の方が預かってくださり、保護者の方は大助かり）

◆保護者・子供と地域の方とのつながり

- ・親子でふれあい川中ウォッチング（川中の豊かな史跡と自然を、地域の方の案内で6年生の親子で歩き、新たな発見に胸を躍らせています。）
- ・しめ縄づくり（親子で80名以上の参加がありました。）



10/5 川中ウォッチング

◆保護者と学校のつながり

地域の先輩たちに負けないくらい子供たちを支援するPTAのサークル活動も盛んです。

- ・絵本サークル（毎月の絵本の読み聞かせ 本の修理 図書室の飾りつけ）
- ・器楽サークル（週2回昼休みの器楽指導 音楽交歓会 器楽サークルコンサート）
- ・英語サークル（月1回 朝学の時間に2年生に英語活動）
- ・サポート隊（芋畑の草取り 側溝の掃除）

◆教職員と地域の方とのつながり

- ・分掌部会での助言 ・研究授業でのユニット型研修



10/19 コスモス祭り

来年度に向けて

「ルル・フラワーの会」の方が「学校のために」と、「ハーブガーデン」を作ってくださったり、小学生と中学生が地域の文化祭での花の販売と一緒に手伝ったりとコミスクを通じて新たなつながり、活動が生まれています。来年度も楽しみながら活動の輪を広げて「学校を核とした地域づくり」を一步ずつ進めていきたいと思ひます。



「つながり」と「やりがい」 ～地域の大人の本気を引き出す～

あいKUMA ←学校キャラクター

下関市立熊野小学校

学校運営協議会について

※めざす在り方

☆CSの中核・・・CSの機関車そして操縦士

最終承認・決定機関

☆「辛口の隣人」として熟議、そして確実に実行

※報告は短時間で行う。忌憚なく必ず全員が発言して議論する。

☆学校課題をすべて伝えて対策を練り上げる。

※困る前に報告・相談して早期かつ早急に対応

☆過去と比較しない、これからをどうするかが大事！

※地域と家庭、学校をつなげる手立てを提案する。

特色ある活動

※人が人をつなげていく！ コミスクコーディネーターが大活躍！

◆さらに次の一手①「支援をつなぐ」～くまの応援隊～ ※登録制で現在100名登録

熊野小学校だけでなく熊野地区のボランティアとして「くまの応援隊」の活動をサポート

◇学習支援（放課後「習熟タイム」指導、読み聞かせ年間40回、暗唱の確認など）

◇環境支援（草刈り、剪定、学習畑整備、図書室掲示、印刷の手伝いなど）

◇安全支援（登下校の見守り、プールの監視、校外活動引率支援など） 他にも多数あり

◆さらに次の一手②「地域をつなぐ」～子供の参加を増やして地域行事の活性化～

毎年恒例の熊野地区三大イベント（くまの夏祭り・熊野ふれあい運動会・くまのウォークラリー）を盛り上げる手立てとして、子供の参加増をめざして学校運営協議会で昨年度に続き「お楽しみチケット付きチラシ」を児童や園児に配付。夏祭りは今年度も過去最高の参加者数で主催者の「やりがい」がアップし、子供の参加が増えると同時に保護者の参加も増えて、子供と地域の方が楽しくふれ合う姿も多く見られた。

◆さらに次の一手③「活動が見える情報発信」～学校のホームページから地域のホームページへ～

たくさんの情報が詰まった「学校ホームページ」を平日毎日更新。学習や学校行事、CS活動、地域の行事等を写真と文書で発信。活動の見える化で「やりがい」がアップ！また、家庭配付の文書も掲載して情報を確実に提供中。訪問者数が1日800～1000人と増加中。

学校ホームページのQRコード→



◆さらに次の一手④「コミスクの原動力」～保護者の本気を引き出す！～

熊野小おやじの会・・・保護者等会員40名（常時募集中）学校環境整備や地域行事の出店などを通して子供を楽しませる活動が定着している。懇親会も定期的開催して情報交換を行っている。母親、地域の方、保護者OB、教職員の加入も増え、報告・連絡・相談はLINEグループで、簡略かつ迅速に行い、それぞれの得意分野（土木・建築・造園など）でのスキルを生かしながら、学校では手が届かない営繕作業を中心に行っている。

PTA OB会・・・PTA執行部の保護者OBが学校行事の裏方を実施（PTA総会の児童預かり、運動会の飲み物販売、地域行事やPTAバザーの支援など）

◆さらに次の一手⑤「大人の学び場」～学校を身近に、もっと知ってもらおう～

学校を地域の方や保護者の「大人の学び場」として開放して、フラワーアレンジメント、英会話、ハングル語、手芸等の教室を定期的に行い、学校が学習と地域交流の場になっている。平成29年度10月から開始して、これまで44回実施（各回参加者約15名）約660人が来校して教養を深め交流を行った。これら活動を通して、学校の実情を知ってもらおうきっかけとなり、環境整備の支援などの学校支援につながることも見られるようになった。

来年度に向けて

※「つながり」と「やりがい」をさらに充実！

これまでの活動を振り返り、かかわるみんなで成果と負担も共有しながら、「地域の学校」をめざして、できる時にできることをそして楽しく進めていきたい。

コミスクがめざすこと

保護者や
教員以外

信頼できる大人との出会い

・学習活動や地域行事などでたくさんの地域の方と出会い、信頼関係を築く。

業務改善

先生といっぱい話ができる

・学校応援団の支援で、教員が子どもと向き合う時間が確保される。

子どもは
地域の宝

地域みんなで子どもを育てる

・15歳までの学びや育ちをつなげていくために、地域の大人が話し合っって協働していく。

「日本一学びが好きな子ども&街」をめざして

下関市立川中中学校

学校運営協議会について

- ◆本校学校運営協議会（年度初めに1回、各学期末に1回開催）
 - ・学校教育目標と取組の状況(生徒指導・学力向上)
 - ・コミュニティ・スクールの取組状況
 - ・今後の取組・提案（研修や地域貢献活動、熟議の予定について）
- ◆川中中学校校区 合同学校運営協議会（各学期末に1回開催）
 - ・各学校コミュニティ・スクールの取組状況
 - ・共通テーマ(重点的な取組)についての確認
 - ・熟議について

特色ある活動

◆熟議の実施

実施日：令和元年8月1日（木） 川中公民館

テーマ：「学びが好きなまち（川中校区）をめざして」

～学校・家庭・地域でできること～

参加者：86名（生徒19、教職員40、保護者8、地域・学校運営協議会委員19）

参加者の感想

保護者

「初めての参加だったが、実際に学校や地域の方々と情報交換できる機会は貴重で楽しかった。こういう場にもう少し積極的に参加しないとダメなと思った。」

学校運営協議会委員・地域住民

「生徒もしっかり考えをもっており、頼もしいと思った。地域の中でも、参加した方から情報発信することも大事なことだと思った。」

◆地域住民が学校に集まる仕掛け ～夜間中学～

保護者・地域住民を対象に、中学校の授業を公開する講座を年間7回開き、中学校の授業を体験していただくとともに、中学校の様子を知ってもらうよい機会としている。今年度は地域の方にも講師となっていたいただき講座を開くことができた。



来年度に向けて

幅広い世代が交流することができる活動や生徒の発案による地域貢献活動を計画・実施することで、コミュニティ・スクールの取組の裾野をさらに広げていきたい。また、多くの保護者・地域住民の方々の参加が得られるように、情報発信の工夫を図り、真の「学びが好きな子ども&街」をめざしたい。